

行政改革大綱実施計画の様式 (たたき台)

現 行 第六次長野市行政改革大綱実施計画

No.

行政改革大綱の位置づけ（項目）	①				
改革項目	②			担当部署	
目的・理由 改革に取り組む背景	③				
取り組み内容 進め方	④				
成果目標 取り組みにより期待する効果	成果の指標		目標（数値）		指標の説明
	⑤		⑥		⑦
年度計画	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年度目標	⑧				
実施概要	⑩				
⑨					
平成〇年度（着手第〇年次）					
実施内容 （取組実績）	⑪				
評価	評価理由及び課題				
	⑫	⑬			
対応方針 （次年度）	⑭				
備考					

- ① 行政改革の取組の各改革に掲げた項目を選択
 - 行政経営に関する改革
 - ・市民等との協働 ・民間活力の活用 ・業務と職員数の最適化 ・市有施設の最適化
 - 財政構造に関する改革
 - ・歳入確保への取組 ・地域経済活性化への取組
 - ・歳出削減への取組 ・効率的、計画的な行財政運営
 - 人材育成・活用に関する改革
 - ・職員の意識改革 ・職員力の向上 ・組織力の向上 ・多様な人材の確保
- ② 取り組む内容が分かり易く具体的な項目名
- ③ この取り組みにより改善、解決していかなくてはならないと考えている課題、懸案事項の内容を分かりやすく簡潔に記載(なぜ、そうしなければならないのか)
- ④ 取り組みの進め方と目指すもの(状況)について、十分に検討を行い、具体的で実現の可能性が高い内容とし、分かりやすく簡潔に記載(どのように進めていくのか)
- ⑤ 指標とその目標(数値)を設定した理由について、分かりやすく記載(なぜ、その目標にしたのか)
- ⑥ 成果の指標の数値目標を記載(達成年度でも構わない)
- ⑦ 実現したい内容、または効果について、具体的に記載(どうすれば達成なのか)
- ⑧ 取り組み内容の実施工程、手順を分かりやすく簡潔に記載(年度ごとに何をやるのか)
- ⑨ 取り組み内容の主な取組または概要を記載(目標達成するまでの流れはどうなるのか)
- ⑩ 記入例を参照し、取り組み内容の実施工程、手順を矢印等で分かりやすく図示(いつ、どのくらいの期間でどういったことをやるのか)
- ⑪ 対象年度の取組実績を記載
- ⑫ 年度目標と成果指標に照らして、対象年度の進捗状況进行评估選択
 - A:目標どおり
 - B:概ね目標どおり
 - C:努力を要する
 - C*:その他(外的要因で評価できない)
- ⑬ 評価理由と課題を記載
- ⑭ 次年度の方針を記載

第六次長野市行政改革大綱実施計画

No.	1-(3)	12
-----	-------	----

行政改革大綱の位置づけ(項目)	業務と職員数の最適化
-----------------	------------

改革項目	共通番号制度の適正な運用及び個人番号カードの普及促進	担当部署	総務部 行政管理課 情報政策課
------	----------------------------	------	-----------------------

目的・理由 改革に取り組む背景	「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる共通番号(マイナンバー)法の施行に伴い、様々な行政機関等が保有する個人に関する情報について、同じ人の情報であることがわかるようにするための社会基盤(インフラ)を整備することにより、福祉、保健、医療その他の社会保障、税又は防災に関する事務における効率性、透明性の向上を図り、給付や負担の公平性を確保し、更なる市民サービスの向上や行政事務の効率化を図る。
--------------------	--

取り組み内容 進め方	国の政省令等や各市の検討状況について情報収集し、国が示す個人情報保護に配慮したシステム改修の準備を行うとともに共通番号制度の導入に伴う推進体制の整備を行い、個人番号カードの普及促進を図る。
---------------	--

	成果の指標	目標(数値)	指標の説明
成果目標 取り組みにより期待する効果	法・政省令等の内容に対応するための確実なシステム改修を行うとともに、個人番号の利用の適正な運用及び個人番号カードの普及率を向上させることにより、市民サービスの向上と事務の効率化を図る。	平成28年1月	社会保障制度、税制、災害対策に関する事務等において、個人番号及び個人番号カードの利用が始まる平成28年1月としたもの

年度計画	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年度目標		・制度導入に向けたシステムの改修 ・個人番号の適正な運用の検討 ・個人番号カードの普及促進の方策の検討	・制度導入に向けたシステムの改修 ・個人番号の適正な運用の検討、実施 ・個人番号カードの普及促進の方策の検討	・個人番号の利用拡大の検討 ・個人番号カードの普及促進 ・更なる付加機能の検討	・個人番号の利用拡大の検討 ・個人番号カードの普及促進 ・更なる付加機能の検討
実施概要	<p>共通番号制度の適正な運用及び個人番号カードの普及促進</p>				

平成26年度から平成27年度まで	
実施内容 (取組実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度 高度情報化推進委員会において、情報システムの改修、事務面の対応検討 ・H27年5月から 対象事務洗い出し、研修会開催、広報ながの記事掲載、個人情報保護のための安全管理体制の整備 ・H27年8月 個人情報保護条例の改正 ・H27年10月 個人番号付番を完了、マイナンバー対応臨時窓口の開設 ・H27年11月 通知カードの発送、通知カードの返戻対応 ・H27年12月 個人番号利用条例の制定 ・H28年1月 個人番号利用事務の開始、個人番号カード交付の開始

評価	B	評価理由及び課題
		出前講座や広報ながのを通した制度周知や臨時窓口を開設して問い合わせや個人番号カード申請受付の対応をするとともに返戻された通知カードを確実に届けるなど市民に対する取組みを進めた。職員向けに研修会を開催し、個人情報の適正な取扱いを求めるとともに、情報システム改修、セキュリティポリシー改訂と個人情報適正管理の指針を作成し、情報漏えい防止に組織的に取り組む体制を整えた。また、個人情報保護条例改正、個人番号利用条例制定、申請書類等の改正をし、制度面の整備を進めた。個人番号カード利用の更なる検討を要するものの、個人番号利用事務の開始にあわせ制度と体制を整えることができたため概ね目標どおりと評価した。
概ね目標どおり		

対応方針 (次年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人番号カードの円滑な交付 ・個人番号利用条例対象事務の追加の検討 ・個人番号カード利用の検討 ・適正な個人情報取扱いに関する研修会実施
---------------	--

備考	
----	--

平成28年度（着手第3年次）	
実施内容 (取組実績)	H28.4 個人番号独自利用事務追加等に関する説明会 H28.5 支所職員向けのマイナンバーに関する説明会 H28.6 情報連携に向けた例規整備説明会 H28.10 住民票等のコンビニ交付開始 H28.12 特定個人情報保護の監査
評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: center;">概ね目標どおり</p> <p style="text-align: center;">評価理由及び課題</p> <p>マイナンバーカード交付の滞留はH28.9月に解消した。H29.7月からの情報連携に向け、テストを行うなど情報システムの準備を進めた。国において、マイナンバーカードを利用した子育てワンストップサービスやマイナンバーカードに搭載される公的個人認証機能を利用して地域経済応援ポイントの導入や図書館や施設利用のワンカード化が検討されており、関係課と緊密に情報交換をして、市民にとって利便性の高いサービスの開始に向け、引き続き研究をする。個人番号独自利用事務の追加やそれに伴う例規整備の検討、またマイナンバーカードの普及促進に向け研究を進めることができたため、評価は概ね目標どおりとした。</p>
対応方針 (次年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の適正な取扱い ・マイナンバーカード・マイナポータルの活用の推進 ・個人番号利用条例対象事務の追加の検討
備考	

平成29年度（着手第4年次）	
実施内容 (取組実績)	
評価	<p style="text-align: center;">評価理由及び課題</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 60%; margin: 20px auto; padding: 10px; text-align: center;"> <p>平成29年度末までに記載</p> </div>
対応方針 (次年度)	
備考	

総括	
主な実施内容 (取組実績)	
評価	<p style="text-align: center;">評価理由及び課題</p>
今後の対応方針	
備考	

改訂 第七次長野市行政改革大綱 実施計画 (たたき台)

No. _____

行政改革大綱の
位置づけ

①

第6次大綱からの区分

継続

H26年度

取組名称

担当部署

部 課

1 ページ目

目的・理由
改革に取り組む
背景

取組内容
進め方

②

成果を測る指標

期待される成果の内容

成果目標
取組により
期待される
成果・効果

指標の数値

年度

H30

H31

H32

H33

H34

年度目標

③

ア 地区説明(施設概要等)及び施設利用者に対する説明・調整等、運営方式検討

イ 地区説明(施設概要等)及び施設利用者に対する説明・調整等、運営方式検討

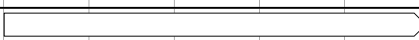
ウ 地区説明(施設概要等)及び施設利用者に対する説明・調整等、運営方式検討

計画

変更後

計画

実績



主な
工程

H29年度以前の取組状況 (前回の綱から継続している取組項目の場合のみ)

④

H30年度 (第一年次)

実施
内容
(実績)

評価

理由及び課題

対応
方針
(次年度)

備考

① 項目を新設

- ・経過が分かるようにするため
継続: 前期の大綱から継続する取組
新規: 第七次での新たな取組
着手年度: 大綱に設定した年度

- ・項目作成の必要有無
- ・「新規・継続」と「着手年度」の併記または、いずれか一つにするか

② 配置を工夫

- ・どのような状態や数値を目指して取り組むのかを数値または想定する状態を文章で記す。

【成果を図る指標】

- 取組によってもたらされるもの(成果・効果測定のための物差し・基準)
- 成果指標: 取組によって目的の達成度合いがわかる指標

【指標の数値】

- 例 平成〇年度に〇%

【期待される成果の内容】

- 取組によってもたらされる具体的な事柄の説明文

③ 記載法を工夫

- ・取組の主な工程を項目立て
- ・計画と実績が異なる場合の表記をどのようにしたらよいか

工程の例示

- 当初計画は、平成31年度から平成33年度の上半期まで
- 実際は、平成33年度から34年度まで要した

記載の方法

- ア 第六次と同じ 色塗りで区分
- イ 第六次の変形 変更年度の記載が必要か
- ウ 文字で表記

④ 項目を新設

- ・前回の大綱から継続している取組項目の場合のみ平成29年度以前の取組状況を記載

平成29年8月末までに、事務局にご意見をお願いします。

H31年度（第二年次）

実施内容 (実績)	2 ページ目	
評価		理由及び課題
対応方針 (次年度)		
備考		

H32年度（第三年次）

実施内容 (実績)		
評価		理由及び課題
対応方針 (次年度)		
備考		

H33年度（第四年次）

実施内容 (実績)		
評価		理由及び課題
対応方針 (次年度)		
備考		

H34年度（第五年次）（総括）

実施内容 (実績)		
評価		理由及び課題
対応方針 (次年度 以降or 次期大綱)		